

第8回 邦楽セミナー「民謡Part2」アンケート結果

日時場所：2011年02月14日(月)「広小路ヤマハホール」

受講者数：32名

アンケート有効回答数：30

講師：内藤千賀弘(藤栄会会主)

回答率：94%

犬塚裕道(ステージ・ヴァンガード)

男	女
19	11
63.3%	36.7%

Q-1:このセミナーを何(何処)で知りましたか?(複数回答)

チラシ	DM	知人の勧め	協会のHP	その他 ※	無回答
10	3	8	6	4	0
33.3%	10.0%	26.7%	20.0%	13.3%	0.0%

※その他の内容

・会社から(2)・協会からのメール(2)

Q-2:このセミナーの会場について

(1) 交通の便	良い	悪い	どちらとも	無回答
	25	0	5	0
	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%

(2) 大きさ	大きすぎる	ちょうど良い	小さすぎる	無回答
	0	27	3	0
	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%

(3) 残響	良い	悪い	どちらとも	無回答
	20	0	7	3
	66.7%	0.0%	23.3%	10.0%

(4) その他(どんなことでも)

- ・音がしずむ。
- ・机が欲しい。(2)
- ・音源と近いので、PALした音の違いが分かり難い。

- ・もっと現場の環境を再現して欲しい。

Q-3: 今回のセミナーの何が参考になりましたか？(複数回答)

第1部	第2部	無回答
21	25	5
70.0%	83.3%	16.7%

Q-4: Q-3で、第1部「民謡のルーツを探る」を選んだ方の意見

- ・伊勢の住人として伊勢音頭がルーツになっていることにとっても驚きました。
- ・伊勢の川崎と、郡上の「かわさき(川崎)」についてよく分かった。
- ・経験している人にしかわからない話を聞いたこと。ネコ・イヌの皮で(三味線の)音色が変わること。
- ・地方によって楽器や音楽が変わること。
- ・演奏を通じながら、今までの認識を更に深めることができた。
- ・お話が民謡のルーツであること。里謡と芸謡に分かれること。それぞれ表現したい音が違うこと。
- ・民謡が各地で別々に発生したわけではなく、人が移動することによって各地に広がり、その地域に合った形に変化して生まれてきたこと。
- ・民謡の始まりから現在に至る歴史と、音楽文化での位置づけ等、演奏者の気持ちを、もし今回参加していなければ、本日の内容について、自分から知ろうとは思わず、ただ音を聴いただけだったと思う。
- ・民謡の歴史と、地域にのちのちの違い。
- ・お伊勢参りから始まったこと。北前船や馬によって広まっていったこと。
- ・文化とのかかわりが大きいことが興味深かった。
- ・曲が違うのに歌詞が同じ曲が多数ある理由がよく分かりました。
- ・文化の流れ。

Q-5: Q-3で、第2部「民謡の楽器を知る」を選んだ方、どの楽器が参考になりましたか？(複数回答)

津軽三味線	三味線(西もの)	尺八	横笛	締め太鼓	平太鼓	唄	お囃子	その他	無回答
20	14	17	10	4	4	7	7	4	4
66.7%	46.7%	56.7%	33.3%	13.3%	13.3%	23.3%	23.3%	13.3%	13.3%

※その楽器や演奏のことで、どのようなことが参考になりましたか？

- ・PAとして、マイクの位置や歌手などとの音量バランス。
- ・各楽器のバランスとマイクの位置。歴史的ルーツ。囃子言葉。
- ・洋楽ばかり聴いている私でも、民謡を聴くと“和の風景”が思い浮かびました。改めて日本文化の素晴らしさを体感しました。
- ・民謡の中での合奏と楽器の持つ意味を知りました。今回もそうだが、本当に親切に詳しく楽器についてもお話があり、また新しい知識を得ることができました。
- ・マイクを立てる位置。演奏法について参考になった。
- ・マイクの位置など。演奏家として注意すべき点。(実演家)

- ・楽器のどの音が美しいか。 バランスのととり方。
- ・尺八の音の聞こえ方、PA担当者が勝手に音量を調整しないこと。リバーブの掛け方。
- ・マイクをおく位置で、演奏家も間違っていることがあること。演奏者によって希望される位置が違うので、いつも悩まされていた。三味線の演奏方法、種類、構造などが理解できた。
- ・それぞれの楽器の音の出方。演奏方法。
- ・各楽器のマイキング。三味線の構造。尺八へのリバーブが歌い手に与える影響。
- ・自分の知らない楽器全部。 西者をもう少し詳しく知りたかった。
- ・演奏法。
- ・マイクの置き場と指向性など。
- ・三味線の構造。尺八の演奏法。
- ・使い手の人の気持ちや扱っている楽器のことを聞いたこと。

Q-6: 受講料について

高い	ちょうど良い	安い	無回答	◇一般 3,150円/学生 1575円
6	22	2	0	
20.0%	73.3%	6.7%	0.0%	

Q-7: 今回のセミナーの全体の評価(参考になりましたか?)

大いになった	参考になった	ならなかった	どちらとも	無回答
20	10	0	0	0
66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

◇その理由は?

<大いに参考になった>

- ・参加した動機は、演奏者側が音響に対し手戸のように感じているかということでした。その意味で有意義であったと思います。今後演奏者も参加があると良いかと思えます。「三位一体」は私も感じます。ともすれば敵対することもおこっていますし……。
- ・楽器の特性を生かした音をとるマイク位置。
- ・施設のボランティアとしての活動の中で、PAが重要となるため。
- ・歴史を知ることができた。
- ・時間を長く感じなかった。民謡はこれからも関わっていくので為になった。
- ・音響についてだけでなく、民謡、楽器についても説明も含めた内容だったので、分かりやすかった。
- ・各楽器の音の出る場所。マイクの拾い方による音の違い。民謡のなkでの各楽器の役割を知ること、実際の拡声に役立てることができる。
- ・民謡のPAをする機会が多く、今まで迷いながらPAをしていたが、間違っていなかったことが分かり、安心できた。全てが参考になった。
- ・民謡そのものを良く知らなかったため、たいへん参考になった。

- ・具体的に質問にも答えていただき、参考になりました。

<参考になった>

- ・伊勢河崎(川→河)ではありませんか？ ウィキペディアからの引用は手抜きです。 17時までなのに……。

Q-8: 今後希望するセミナーとその内容(複数回答)

(1)邦楽

能・狂言	日本舞踊	長唄	民謡	その他※
7	13	3	5	2
23.3%	43.3%	10.0%	16.7%	6.7%

※その他の内容

- ・民謡のセミナーを更に引続き実施していただきたい。
- ・端唄

◇能・狂言を選んだ方にお尋ねします。どのようなことが学びたいですか？

- ・物語の流れ。音響的なこと。起源。
- ・美しく見える表現方法。ホールならでの表現を考えたい。
- ・全く無知なひとに向けたもの。
- ・マイクアレンジ。マイクの隠し方などなど。
- ・狂言について今日みたいに知りたいので。出演者の気持ちや希望。

(2)洋楽

ジャズ	ロック	クラシック	バレエ	その他
10	7	3	8	1
33.3%	23.3%	10.0%	26.7%	3.3%

Q-9: 日本音響家協会のHPをご覧になったことがありますか？

ある	ない	無回答
16	10	4
53.3%	33.3%	13.3%

Q-10: SEAS(日本音響家協会)に入会したい

はい	いいえ	無回答
1	12	17
3.3%	40.0%	56.7%